



2014年1月号

息子(小1)が同級生からカードの売り買いを持ちかけられた様子。相手のお母さんにどう知らせたら…

先方に電話をかけるときの、話し方と気をつけること

①話の始め方は、あくまでもフレンドリーに。深刻な感じで切り出すと先方も身構えてしまいます。



1年2組で一緒にいる吉田です。いつも、俊也が仲良くしていただいてありがとうございます。今日も友介くん遊びに来てもらって、とっても楽しそうでした。ただ、ちょっと気になることがあって、ご連絡したんです。

②子どもの間に起きたことはお互いさま、という気持ちで、「カード交換が金銭のやりとりにつながった」という事実をさりりと説明しましょう。先方のお子さんがカードを売ろうとしたことを、ことさらに取り上げることはありません。



ふたりでカードゲームのカードを見せあって楽しそうに盛りあがっていたんですけど、どうやらカード交換の交渉がだんだんエスカレートして、売り買いをするという相談までいってしまったみたいなんです。「いくら?」とか「200円」とか、話しているのが聞こえたので、「お家の人に買ってもらったものを子ども同士で売ったり買ったりはだめよ」と話したら、子どもたちもわかってくれて、その話はそれで終わりました。

③今回の問題が、自分の子どもたちだけの話ではなさそうだとことをさりげなく知らせます。



ただ、あとから俊也に「カードの売り買いってどうして思いついたの?」と訊ねたら、「わりとみんなやってる」というので、うちの子どもたちだけのことでもないのかもしれないと思って。

④自分の思いを述べたうえで、相手の考えや聞きたいことを伝えます。一緒に問題を解決したいという姿勢を見せましょう。また、話のまともは先方の意見もとり入れること。問題を共有しているという連帯感が生まれます。



もしかしたら、クラスや学校で、そういうことがはやりはじめているのかもしれない。だから、友介くんのママにもお知らせしたほうがいいかなと。もしかしたら、担任の石倉先生にも一度ご相談したほうがよいのではとも思ったのですが、どうでしょう?



今月のお題
伝える技術 1

息子(小1)が同級生からカードの売り買いを持ちかけられた様子。相手のお母さんにどう知らせたら ……

言葉のニュアンスを伝えられる電話での連絡がおすすめ



今回の件は、カードを持っている子どもなら誰にでも起きる事態といっていると思います。ですから、先

手の子どもの責めるのは禁物と一緒に解決したいという姿勢で

方のお母さんには「今日、こんなことがあって」という事実だけではなく、一緒に問題を解決してほしいという姿勢で解決方法を相談されることをおすすめします。つまり、子どもたちの周辺で始まろうとしているカードの売買を禁止する」方法をふたりのお母さんが、ともに考えるということ。

先方のママの気持ちも受けとめる心の余裕をもって

ママのための日本語トレーニング vol.7



子ども同士の金銭のやりとりは、理由はどうあれトラブルのもと。気がついたら、やめさせるのは当然ですが、相手のご家庭にも話しておいたほうがいいかもしれません。そんなときには、論点をちゃんと伝えるひと工夫が必要です。

出口 汪 てぐちひろし

大学院生時代に予備校の教壇に立ち、独自の論理的解法を駆使した講義でたちまち人気を博し、現代文のトップ講師として30年以上にわたり、教え続ける。2002年に自らの経験の集大成として「論理エンジン」を開発。執筆した受験参考書は累計600万部を超える。最新刊は小学生向けの「出口汪の日本語論理トレーニング」シリーズ(小学館)。